



平成19年10月26日

各 位

会社名  乾汽船株式会社  
代表者名 代表取締役社長 乾 新悟  
(コード番号 9113 東証・大証第1部)  
問合せ先 取締役兼経理部長 阿部 健二  
電 話 03(3548)3273

## 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

### 1. 平成20年3月期中間期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成19年9月30日)

最近の業績の動向等を踏まえ、平成19年8月10日の第1四半期決算発表時に公表した、平成20年3月期中間期(平成19年4月1日～平成19年9月30日)の業績予想を、下記のとおり修正致しましたのでお知らせ致します。

#### (1)連結 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,500	3,700	3,700	3,550
今回修正予想(B)	10,800	4,100	3,800	3,700
増減額(B-A)	300	400	100	150
増減率(%)	2.9	10.8	2.7	4.2
(ご参考)前期実績(平成18年9月中間期)	8,084	1,308	1,214	789

(参考)1株当たり予想当期純利益(中間期) 131円72銭

#### (2)個別 (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	10,550	3,700	3,750	2,300
今回修正予想(B)	10,850	4,200	4,100	2,500
増減額(B-A)	300	500	350	200
増減率(%)	2.8	13.5	9.3	8.7
(ご参考)前期実績(平成18年9月中間期)	8,242	1,297	1,311	879

(参考)1株当たり予想当期純利益(中間期) 89円00銭

### (3)修正の理由

中間期の業績につきましては、第2四半期における為替の上下変動や燃料油価格の高止まりなどのマイナス要素はあるものの、当社が主力とする不定期船マーケットの運賃市況は第1四半期以降も予想以上の上昇が続き、また期中平均為替も当初前提に比べ円安に推移したため、第1四半期決算発表時における業績予想の上方修正値を上回る実績となる見込みです。現在、中間決算発表に向け決算集計をしておりますが、現段階における取り纏め状況に基づき、上記のとおり、上方修正致します。

なお、通期の業績予想につきましては、平成19年11月9日の中間決算発表時に公表する予定です。

## 2. 配当予想の修正

当社は平成19年10月26日開催の取締役会において、平成19年8月10日の第1四半期決算発表時に公表した、平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の配当予想を、下記のとおり修正することを決議致しましたので、お知らせ致します。

### (1)修正の内容

	期末	年間
前回発表予想 (平成19年8月10日)	18円	18円
今回修正予想	30円	30円
(ご参考)前期実績 (平成19年3月期)	18円 (内、特別配当2円 好業績配当6円)	18円 (内、特別配当2円 好業績配当6円)

### (2)修正の理由

当社は、企業価値の向上を念頭に、将来の事業展開のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を基本として業績に連動した利益を総合的に勘案して株主に配分することを基本方針としております。

当期における配当予想につきましては、平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況にて1株あたり18円と公表しておりますが、上記のとおり、平成20年3月期の中間期業績予想を修正し、併せて今後の業績につきましても、引き続き堅調に推移すると見込まれるため、配当予想につきましても1株あたり30円に修正致します。

上記の業績予想は、現時点において当社が合理的と判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

以 上